

Vol.3

令和 8 年度
アイヌ語ラジオ講座

講師：はや さか 早坂

しゅん 駿

10月▶▶12月



STVラジオ

毎週日曜日 朝 7:00~7:15

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/>



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも、私たちが普段から身近に触れているアイヌ語として「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリン（樺太）や千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。地名の他にも、「エトピリカ」「ラッコ」「トナカイ」など、アイヌ語として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、アイヌ語を日常会話の言語として使われることが少なく、知っている単語も会話の中に稀に聞かれるだけです。それでも先祖から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座をラジオで放送しております。多くの方がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、平成 10 年よりさまざまな講師をお招きして開講しております。

令和 8 年度の講師は、旭川市出身、早坂駿さんをお迎えして、アイヌ語の「旭川方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

2026 年 4 月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

目 次

テキストは 3 ヶ月ごとに発行しています。

講師・支援研究者の紹介	P. 2
講座のスケジュール	P. 3
レッスン 27 ～ 39	P. 4
ポッドキャストのお知らせ	P.30
賛助会員募集	P.33

Vol.3

令和 8 年度 アイヌ語ラジオ講座

講師：はや さか しゅん
早坂 駿

10月▶▶12月



STVラジオ

毎週日曜日 朝 7:00～7:15

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/>



公益財団法人 アイヌ民族文化財団

講師・執筆者紹介



はや 早
さか 坂
しゅん 駿

旭川市出身。

アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）での勤務を経て、アイヌ民族文化財団の「伝承者育成事業」「アイヌ語指導者育成事業」を修了。

現在は同財団の職員として活動している。

支援研究者

なか がわ ひろし
中 川 裕 千葉大学名誉教授

このテキストのアイヌ語と表記の仕方について

現在のところアイヌ語には共通的な表現はあるものの、それぞれの地域での言い方があります。そのため、このテキストでは担当講師の方言（旭川方言）でのアイヌ語をご紹介します。

スケジュール

月	日	LESSON	テーマ	ページ
10月	4日	27	文と文をつなぐ表現(1)	4
	11日	28	文と文をつなぐ表現(2)	6
	18日	29	名詞や文と後ろの動作をつなぐ表現	8
	25日	30	10月のまとめ	10
11月	1日	31	助動詞(1) ～したい、～だろう、～したことがある、～したことがない	12
	8日	32	助動詞(2) ～し終える、すでに～した、～することができる、～することができない	14
	15日	33	お前が私に、お前たちが私たちに	16
	22日	34	私がお前に、私がお前たちに	18
	29日	35	11月のまとめ	20
12月	6日	36	疑問詞を用いた表現(1) なに、なぜ、どのように	22
	13日	37	疑問詞を用いた表現(2) どこで、どこへ、どこから	24
	20日	38	疑問詞を用いた表現(3) いつ、どれ、だれ	26
	27日	39	12月のまとめ	28

文と文をつなぐ表現(1)

- ① ku=sinki kusu sini=an rok!
クシンキ クス シニアン ロク！ 私に疲れたから休みましょう！
- ② ruyanpe as korka ku=soyne.
ルヤンペ アシ コロカ クソイネ。雨が降っているけれど私は外に出る。
- ③ ku=mokor kor ku=cinita.
クモコロ コロ クチニタ。私は眠ると夢を見る。
- ④ húci itak ciki nu yan.
フチ イタク チキ ヌ ヤン。おばあさんが話したら聞きなさい。

今日の単語

ku=	ク	人称接辞	私が
sinki	シンキ	自動詞	疲れる
kusu	クス	接続助詞	～から、～ので
sini	シニ	自動詞	休む
=an	アン	人称接辞	(聞き手を含む) 私たちが
rok	ロク	終助詞	～しましょう
ruyanpe	ルヤンペ	名詞	雨
as	アシ	自動詞	降る
korka	コロカ	接続助詞	～けれど
soyne	ソイネ	自動詞	外に出る
mokor	モコロ	自動詞	眠る
kor	コロ	接続助詞	～と
cinita	チニタ	自動詞	夢を見る
húci	フチ	名詞	おばあさん
itak	イタク	自動詞	話す
ciki	チキ	接続助詞	～したら
nu	ヌ	他動詞	～を聞く
yan	ヤン	終助詞	～なさい

今回は「～したので〇〇した」や「～したけれど〇〇した」のように文章をつなげる表現を覚えていきましょう。

接続助詞

「好きなので買う」「怖いけど行く」の「なので」「けど」のように前の文章と後ろの文章をつなぐ役割を持つ単語のことを「接続助詞」と言います。

kusu は「～から (ので) 〇〇する」のように、理由、原因などを表現するときに使います。作文するときには例文①「sinki kusu sini (疲れたから休む)」のように kusu の前に理由や原因 (疲れた) を置き、kusu の後ろにその結果や行動 (休む) を置きます。

korka は「～けれど〇〇する」のように、予想とは反対の結果になるときに使います。作文するときには、例文②「ruyanpe as korka soyne (雨が降っているけれど外に出る)」のように、korka の前に起こったこと (雨が降った) を置き、korka の後ろにその結果や行動 (外に出る) を置きます。

kor は「～すると〇〇する」のように、「そうすると、いつもこうなる」という関係を表すときに使います。作文するときには例文③「mokor kor cinita (眠ると夢を見る)」のように、kor の前に行動 (眠る) を置き、kor の後ろに結果や行動 (夢を見る) を置きます。

ciki は「～したら〇〇しろ」のように「これから起こることのあとに命令やお願いをする」ときに使います。作文するときには例文④「itak ciki nu (話したら聞け)」のように、ciki の前にこれから起こること (話す) を置き、ciki の後ろに命令やお願い (聞け) を置きます。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

- | | | |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 雨が降るので帰りましょう。 | ヒント: hosippa | 帰る (複数形) |
| 2. 雪が降ったけれど私は外に出る。 | ヒント: upas as | 雪が降る |
| 3. 私は休むと元気になる。 | ヒント: tótek | 元気になる |
| 4. 雷が鳴ったら休みなさい。 | ヒント: kamuyhum as | 雷が鳴る |

コラム

まりも祭り

今のアイヌにとって、一大イベントの一つで、阿寒湖温泉で10月8日～10日に行われます。「まりも祭り」は昭和25年より、国の特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」を保護し湖へ還すことから始まりました。

(引用: 阿寒湖アイヌコタン <https://www.akanainu.jp/>)

全国各地からたくさんのアイヌが集まり、儀礼や舞踊、たいまつ行進などを行います。各地の芸能や着物などを一度にみられる機会はなかなかないので興味がある方はぜひ行ってみてください (私もおそろく行きます)。

文と文をつなぐ表現(2)

- ① acapo mokor híne ipe híne hosipi.
アチャポ モコロ イネ イペ イネ
オシピ。 おじさんが眠って食事して帰った。
- ② unarpe kampsos kor wa ek.
ウナラペ カンピソシ コロ ワ エク。 おばさんが本を持って来る。
- ③ ékas mina kor an.
エカシ ミナ コロ アン。 おじいさんが笑っている。
- ④ hekaci mína kor hoyupu.
エカチ ミナ コロ オユプ。 子どもが笑いながら走る。

今日の単語

acapo	アチャポ	名詞	おじさん
mokor	モコロ	自動詞	眠る
(h)íne	イネ (ヒネ)	接続助詞	～して
ipe	イペ	自動詞	食事する
(h)osipi	オシピ (ホシピ)	自動詞	帰る
unarpe	ウナラペ	名詞	おばさん
kampsos	カンピソシ	名詞	本
kor	コロ	他動詞	～を持つ
wa	ワ	接続助詞	～して
ek	エク	自動詞	来る
ékas	エカシ	名詞	おじいさん
mína	ミナ	自動詞	笑う
kor	コロ	接続助詞	～ながら
an	アン	自動詞	ある、いる
(h)ekaci	エカチ (ヘカチ)	名詞	子ども
(h)oyupu	オユプ (ホユプ)	自動詞	走る

前回に引き続き、文と文をつなぐ役割を持つ単語、接続助詞を使った表現と音の変化について覚えていきましょう。

音の変化

例文の híne = イネ、hosipi = オシピ、hekaci = エカチ、hoyupu = オユプは、ローマ字とカタカナで音が異なっています。石狩方言では単語の先頭に来る h は音が消えることがあるため、このように表記しています。詳しい法則はわかっていないため、本講座では今回を除き、基本的には h の音を含めた発音をします。

～して〇〇する

híne、wa、kor を使った例文を紹介しましたが、例文①②③は接続助詞の訳がすべて「～して」のようになっています。それぞれ使い分け方がありますので、順番に紹介していきます。

híne 出来事を順番に並べる「～して」

wa 前後の行動につながりがある「～して」

kor 複数の行動を同時に行う「～して」

híne は出来事を時間の流れに沿って話すときに使います。例文①の「mokor(眠る)」 「ipe(食事する)」 「hosipi(帰る)」 という行動はそれぞれが独立して行われていて前後で関係がありません。イメージとしては、「朝起きて、顔を洗って、仕事に行って」のように起こった出来事を順番に話すときの「～して」です。

wa は híne と同じように出来事を時間の流れに沿って話すときにも使いますが、前の行動と後ろの行動が一連の流れで行われる場合にも使います。例文②のように「おばさんが本を持って来る」というと、自分のところなどにおばさんが本を持って来ることを想像したかと思います。このように、「持つ」と「来る」は本来別の行動ですが、「持って来る」というと、その動作は一連の流れで行うもので切り離すことはできません。もし、これを「kampsos kor híne ek」とすると、「おばさんが本を手に入れて、(そのことを報告しに本を持たずに) 来た」という場合もありえることになりますので、一連の流れを表す wa の活用法とは異なります。

～しながら〇〇する

kor は前の文と後ろの文の行動を同時にしているときに使います。例文④の「mína kor hoyupu(笑いながら走る)」のように kor は「～しながら〇〇する」というときに使います。ただし、「～しながら」と訳すよりも、例文③の「mína kor an(笑っている)」のように「～して」と訳す方が日本語として自然になる場合もあります。前回紹介した「～すると」の意味の kor とは別の表現です。

コラム

シケレペ

キハダやシコロという木の実のことをシケレペと言います。実は枝の先に房になってついており、一粒は 1cm にも満たない大きさです。採取するときは、非常に背の高い木なので、先が二股になった棒を使い、実のなっている枝を挟んでひねり、折って枝ごと落とします。黒く熟した実の味は、苦みと若干の甘味、ピリッとした刺激とさわやかな香りが広がります。ラタシケブとかぼちゃや豆などを入れて作る伝統料理に入れて食べます。

名詞や文と後ろの動作をつなぐ表現

- 1 sirawoy ekota ku=oman.
シラウォイ エコタ クオマン。 白老に私は行く。
- 2 mékot akkari seta ku=eramasu.
メコッ アッカリ セタ クエラマス。 私は猫より犬が好き。
- 3 marek ani ku=ona cepkoyki.
マレク アニ クオナ チェプコイキ。 鉤鋸を使って私の父が魚を獲る。
- 4 “mokor yan” sekor ku=itak.
「モコロ ヤン」 セコロ クイタッ。 「眠りなさい」と私は言った。

今日の単語

sirawoy	シラウォイ	名詞	白老
ekota	エコタ	後置副詞	～へ
ku=	ク	人称接辞	私が
oman	オマン	自動詞	行く
mékot	メコッ	名詞	猫
akkari	アッカリ	後置副詞	～より
seta	セタ	名詞	犬
eramasu	エラマス	他動詞	～を好き
marek	マレク	名詞	鉤鋸
ani	アニ	後置副詞	～で
ona	オナ	名詞	父
cepkoyki	チェプコイキ	自動詞	魚を獲る
mokor	モコロ	自動詞	眠る
yan	ヤン	終助詞	～なさい
sekor	セコロ	後置副詞	～と
itak	イタッ	自動詞	言う

今回は「～より○○」「～を使って○○する」などのように、前にある名詞や文と、後ろの動作をつなぐ役割を持つ単語「後置副詞」を覚えていきましょう。すでに Lesson17 (位置を表す名詞と場所と動詞をつなぐ言葉の表現) で「ekota (～へ)」という後置副詞に触れましたが、そのほかの後置副詞についても紹介します。

後置副詞の使い方

ekota を使った表現を復習しましょう。ekota は例文①「sirawoy ekota oman (白老に行く)」のように ekota の前に場所を置き、そこへ向かって後ろの動作をするときに使います。

akkari は例文②の「mékot akkari seta eramasu (猫より犬が好き)」のように akkari の前のものと後ろのものを比較するときに使います。

ani は例文③の「marek ani cepkoyki (鉤鋸で魚を獲る)」のように ani の前に道具や手段を置き、それを使って後ろの動作をするときに使います。

sekor は「～が○○と言う」や「～は○○と思う」のような文で使い、日本語でいう「と」にあたります。例文④では itak (話す) という動詞を使っていますが、yaynu (思う) を使って「sekor ku=yaynu」とすると「～と私は思う」と表現することができます。

応用

sekor はセリフや考えていることを表現する他に「sekor an pe」「sekor an=ye p」などと表現することで「～というもの」と表現することができます。また、ani の前に来る言葉は道具とは限らないので「sísam itak ani (日本語で)」のように使うことができます。これを組み合わせて「sísam itak ani 携帯電話 sekor an=ye p」と言うと「日本語で携帯電話というもの」と表現できますので、アイヌ語で表すことが難しいときに便利です。

an= はこれまで「(聞き手を含む) 私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。また ye の前では音が代わり、「アンイエ」ではなく、「アイエ」と発音します。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。※～と○○のところには好きな単語を入れてください。

1. 「～へ行く」
2. 「～より○○が好き」
3. 「～で○○を叩く」 ヒント kik キッ ～を叩く
4. 「私は～を食べたいと思う」 ヒント e rusuy エ ルスイ ～を食べたい

コラム

マレク

マレクは鉤鋸と訳される道具で、川に遡上してきたサケを獲るために使います。マレクは、鉤と鋸の性質を兼ね備えた道具で、①フック状の金属でできた鋸先、②フックをはめ込む木製の台木、③柄の3つの部品からできています。フック状の鋸先は、獲物を突いたときに刺さるよう、先端を前方に向けた状態で台木にはめ込まれています。しかし、獲物に刺さるとフックが台木から外れ、獲物をひっかけたままぶら下げる仕組みになっています。そのため、獲物を川から引き上げる際にも抜け落ちにくくなっています。

LESSON 30 10/25㊦放送 10月のまとめ

10月 は接続助詞と後置副詞を使った表現を紹介しました。

後置副詞や接続助詞を使うと、言葉と言葉をつなげたり、文に詳しい情報を付け加えたりすることができ、表現の幅が広がるのでしっかり覚えていきましょう。

- 前の文章と後ろの文章をつなぐ役割を持つ単語のことを「接続助詞」と言います。

① kusu 「～から(ので)〇〇する」のように、理由、原因などを表現するときに使います。

例：ku=hoyupu kusu ku=sinki. クホユプ クス クシンキ。
私は走ったので疲れた。

② korka 「～けれど〇〇する」のように、予想とは反対の結果になるときに使います。

例：ku=sinki korka ku=hoyupu. クシンキ コロカ クホユプ。
私は疲れたけれど走る。

③ kor 「～すると〇〇する」のように、「そうすると、いつもこうなる」という関係を表すときに使います。

例：ku=hoyupu kor wakka ku=ku. クホユプ コロ ワッカ クク。
私は走ると水を飲む

④ ciki 「～したら〇〇しろ」のように「これから起こること、そのあとに命令やお願いをするときに使います。

例：e=sinki ciki sini! エシンキ チキ シニ! 疲れたら休め!

⑤ híne 「～して〇〇する」のように出来事を時間の流れに沿って話すときに使います。

例：ku=hoyupu híne wakka ku=ku híne ku=hosipi. クホユプ ヒネ ワッカクク
ヒネ クホシピ 私は走って、水を飲んで、帰った。

⑥ wa híne と同様の使い方と、前の行動と後ろの行動が一連の流れで行われる場合にも使います。

例：ku=hok wa ku=hosipi. クホク ワ クホシピ。 私は買って帰る。

⑦ kor 「～しながら〇〇する」のように前の文と後ろの文の行動を同時にしているときに使います。「～すると〇〇する」の kor とは別の表現です。

例：ku=hoyupu kor ku=mina. クホユプ コロ クミナ。
私は走りながら笑う。

- 音の変化

石狩方言では単語の先頭に来る h の音が消えることがあります。詳しい法則はわかっていないため、本講座では、基本的には h の音を含めた発音をします。

例) híne	ヒネ	íne	イネ	～して
hoyupu	ホユプ	oyupu	オユプ	～が走る
hosipi	ホシピ	osipi	オシピ	～が帰る

- 前にある名詞や文と後ろの動作をつなぐ役割を持つ単語のことを「後置副詞」と言います。

① ekota ekota の前に場所を置き、そこへ向かって後ろの動作をするときに使います。

例：sirawoy ekota ku=oman. シラウオイ エコタ クオマン。
私は白老に行く。

② akkari akkari の前のものと後ろのものを比較するときに使います。

例：mékot akkari seta ku=eramasu. メコッ アッカリ セタ クエラマス。
私は猫より犬が好き。

③ ani ani の前に道具や手段を置き、それを使って後ろの動作をするときに使います。

例：makiri ani ku=tuye. マキリ アニ クトゥイエ。 私は小刀で切る。

④ sekor 「～が〇〇と言う」や「～は〇〇と思う」のような文で使い、日本語でいう「と」にあたります。

例：“ku=sini”sekor ku=itak. 「クシニ」 セコロ クイタク。 「私は休む」と言った。

sekor と ani を組み合わせた表現

「sekor an pe」 「sekor an=ye p」などの表現で「～というもの」と表現することができます。また、ani は「sísam itak ani (日本語で)」のように使うことができます。「sísam itak ani 携帯電話 sekor an=ye p」と言うと「日本語で携帯電話というもの」と表現できますので、アイヌ語で表すことが難しいときに便利です。

一般に人が

an= はこれまで「(聞き手を含む) 私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。また ye の前では音が代わり、「アンイエ」ではなく、「アイエ」と発音します。

助動詞(1) ～したい、～だろう、～ したことがある、～したことがない

- ① utarano hosippa=an rusuy.
ウトウラノ ホシッパアン ルスイ。 一緒に帰りたい。
- ② nissata sirpirka nankor.
ニサッタ シリピリカ ナンコロ。 明日晴れるだろう。
- ③ toankur ku=nukar amkir.
トアンフル クヌカラ アムキリ。 私はあの人を見たことがある。
- ④ tanpe ku=e erameskare.
タンペ クエ エラメシカレ。 私はこれを食べたことがない。

今日の単語

uturano	ウトウラノ	副詞	一緒に
hosippa	ホシッパ	自動詞	帰る（複数形）
=an	アン	人称接辞	（聞き手を含む）私たちが
rusuy	ルスイ	助動詞	～したい
nisatta	ニサッタ	副詞	明日
sirpirka	シリピリカ	完全動詞	天気がいい
nankor	ナンコロ	助動詞	～だろう
toankur	トアンフル	名詞	あの人
ku=	ク	人称接辞	私が
nukar	ヌカラ	他動詞	～を見る
amkir	アムキリ	助動詞	～したことがある
tanpe	タンペ	名詞	これ
e	エ	他動詞	～を食べる
erameskare	エラメシカレ	助動詞	～したことがない

助動詞を使った表現

今回は動詞の後ろに付けて、「～したい」「～だろう」のような意味を付け加える言葉「助動詞」を紹介します。

- rusuy ～したい
動詞の後ろに rusuy を置くことで「～したい」という表現ができます。例文①では hosippa（帰る）の後ろに rusuy を置くことで「hosippa rusuy（帰りたい）」という表現をしています。「帰りたい」ではなく「食べたい」「行きたい」などと表現したいときには、rusuy の前の動詞を変えます。
- nankor ～だろう
動詞の後ろに nankor を置くことで、「～だろう」という表現ができます。例文②では、sirpirka（天気がいい）の後ろに nankor を置いて、「sirpirka nankor（晴れるだろう）」と表現しています。
- amkir ～したことがある
動詞の後ろに amkir を置くことで、「～したことがある」という経験を表すことができます。例文③では、nukar（～を見る）の後ろに amkir を置いて、「nukar amkir（見たことがある）」と表現しています。
- erameskare ～したことがない
動詞の後ろに erameskare を置くことで、「～したことがない」という、経験がないことを表すことができます。例文④では、e（～を食べる）の後ろに erameskare を置いて、「e erameskare（食べたことがない）」と表現しています。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。※～のところには好きな単語を入れてください。

1. 「私は～したい」
2. 「あの方は～するだろう」
3. 「～を食べたことがある」
4. 「～を見たことがない」

コラム

エラメシカレ

テキストでは「～したことがない」をエラメシカレと紹介しましたが、この言葉は地域によって形が違います。石狩方言でもエラムシカレという表現もあり、沙流方言などではエラミシカリといいます。どれもほぼ同じなのに微妙に違うというのが余計に混乱します。

助動詞(2) ～し終える、すでに～した、～することができる、～することができない

- ① ku=monrayke okere. 私は仕事し終えた。
クモンライケ オケレ。
- ② e=ipe nisa? お前のご飯すませた？
エイペ ニサ？
- ③ ku=karku pirkano ma easkay. 私の甥っ子は上手に泳ぐことができる。
クカラク ピリカノ マ エアシカイ。
- ④ yuk anak kam e eaykap. 鹿は肉を食べることができない。
ユク アナク カム エ エアイカプ。

今日の単語

ku=	ク	人称接辞	私が	ma	マ	自動詞	泳ぐ
monrayke	モンライケ	自動詞	仕事する	easkay	エアシカイ	助動詞	～することができる
okere	オケレ	助動詞	(最後まで)～し終える	yuk	ユク	名詞	鹿
e=	エ	人称接辞	お前が	anak	アナク	副助詞	～は
ipe	イペ	自動詞	食事する	kam	カム	名詞	肉
nisa	ニサ	助動詞	(すでに)～した	e	エ	他動詞	～を食べる
karku	カラク	名詞	甥っ子	eaykap	エアイカプ	助動詞	～することができない
pirkano	ピリカノ	副詞	上手に				

前回に引き続き、助動詞を使った表現を覚えていきましょう。今回は、次の4つの助動詞を紹介します。

助動詞を使った表現

- okere ～し終える
動詞の後ろに okere を置くことで、「最後まで～し終える」という表現ができます。例文①では、monrayke (仕事をする) の後ろに okere を置いて、「monrayke okere (仕事をし終える)」と表現しています。
- nisa すでに～した
okere は動作を最後まで行い、やり終えることを表していることにに対し、nisa は動作や出来事がすでに起こり、完了したことを表すときに使います。動詞の後ろに nisa を置くことで、「すでに～した」という表現ができます。例文②では、ipe (食事する) の後ろに nisa を置いて、「ipe nisa (食事をすませた)」と表現しています。
- easkay ～することができる
動詞の後ろに easkay を置くことで、「～することができる」という表現ができます。例文③では、ma (泳ぐ) の後ろに easkay を置いて、「ma easkay (泳ぐことができる)」

と表現しています。

- eaykap ～することができない
動詞の後ろに eaykap を置くことで、「～することができない」という表現ができます。例文④では、e (～を食べる) の後ろに eaykap を置いて、「e eaykap (食べることができない)」と表現しています。

～することができないを表すそのほかの表現

「～することができない」という表現にはいくつか種類があります。eaykap は能力的にすることができない(下手である)と言うときに使います。また、広い意味で「～することができない」を表します。

- koyaykus ～したくてもすることができない
ku=unu ku=oyra koyaykus. 母を忘れることができない。
- nukuri (年を取って、体調が悪くて、疲れてなどの理由で) ～をすることができない
ku=omkekar kusu ku=oman nukuri. 風邪をひいてしまったので行くことができない。

-no を使った表現

自動詞の後ろに no を付けることで、動作や状態についてその様子や程度を表す副詞を作ることができます。例えば例文③で使っている pirkano (上手に) は、pirka (良い) に no が付いた形です。pon (小さい) に no を付けて「ponno (少し)」、poro (大きい) に no を付けて「poronno (たくさん)」という表現になります。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

※「～」のところには好きな単語を入れてください。

- 「私は～をし終えた」
- 「私は～をすでに食べた」
- 「私は～ができる」
- 「私は～を食べることができない」

コラム

エイペ ニサ？

いつも講座の始まりに「トテッノ エソカイ ルウェ？ (お元気ですか?)」と挨拶をしています。これは古くから使っていた表現ではありません。当時、旭川で開催されたアイヌ語教室の中で気軽に使える挨拶の言葉がないため、話し合いをして決まったと聞いています。しかし、本当はその時集まった人たちにとって一番なじみがあったのは「エイペ ニサ？ (ご飯食べたか?)」だったそうです。これはかつての暮らしの中ではこのような言葉をかけ合い、食事がまだなら、とりあえず何か食べさせるというところから来ているとのこと。アイヌ語ラジオ講座の先輩(平成27年度講師)であり、同じ職場であり、親戚である中井貴規さんは今でもこの言葉をメールなどで使っています。また、現在ではこの言葉を使う人は少なくても、私の経験上、親しいアイヌを訪ねた時には「ご飯食べたか」と声を掛けてくれる人が多いと感じます。このような精神は今でも残っているんだろうと温かい気持ちになります。

お前が私に、お前たちが私たちに

- ① ikor e=en=kore.
イコロ エエンコレ。 お前が私にお金をくれた。
- ② es=en=hunara sekor ku=inu.
エシエンフナラ セコロ クイヌ。 お前たちが私を探していたと聞いた。
- ③ e=un=tère.
エウンテレ。 お前が私たちを待つ。
- ④ es=un=tak korka es=isam.
エシウンタク コロカ エシイサム。 あなたたちが私たちを呼んだのに、あなたたちはいなかった。

今日の単語

ikor	イコロ	名詞	お金
e=	エ	人称接辞	お前が
en=	エン	人称接辞	私を (に)
kóre	コレ	複他動詞	～を～に与える
es=	エシ	人称接辞	お前たちが、あなたが、あなたたちが
hunara	フナラ	他動詞	～を探す
sekor	セコロ	後置副詞	～と
ku=	ク	人称接辞	私が
inu	イヌ	自動詞	聞く
un=	ウン	人称接辞	私たちを (に)
tère	テレ	他動詞	～を待つ
tak	タク	他動詞	～を呼ぶ
korka	コロカ	接続助詞	～けれど
isam	イサム	自動詞	いない

これまで紹介してきた人称接辞は「ku= (私が)」や「=an (私たちが)」などのように動詞の前や後ろに一つだけつけることで表現してきましたが、今回は二つの人称接辞を組み合わせて使う表現を覚えていきましょう。

例文①の「e=en=kore」では、e= が「お前が」、en= が「私に」を表しているので、「お前が私にくれた」という意味になります。kóre の部分をほかの動詞に変えることで、さまざまな表現を作ることができます。

また、「es= (お前たちが)」や「un= (私たちに)」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に (を) ○○する」を表すことができます。

e=en= ○○ →お前が私に (を) ○○する
 es=en= ○○ →お前たちが私に (を) ○○する
 e=un= ○○ →お前が私たちに (を) ○○する
 es=un= ○○ →お前たちが私たちに (を) ○○する

ただし、es= には「お前たちが」以外に「あなたが」「あなたたちが」という意味があるため、どの意味になるかは文脈から判断します。

また、この表現は「お前が私を (に) ○○する」のように、主語と目的語を表すものなので、自動詞に使うことはできません。

注意点 (命令文)

今回覚えた表現を使って「お金をください」という文を作ろうとすると、「ikor e=en=kore yan」と言いたくなるかもしれませんが、しかし、命令文では主語を表す人称接辞を付けません。そのため、「お前が」を表す e= は付けず、「ikor en=kore yan (お金をください)」と表現します。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

- お前が私を呼んだ
- お前たちが私を見る ヒント：nukar ～を見る
- お前が私たちを叱る ヒント：koyki ～を叱る
- お前たちが私たちを手伝う ヒント：kasuy ～を手伝う

コラム

コタンノミ

春と秋には大きなお祭りを開き、村の人たちの健康を祈り、自然の恵みが豊かであるようにと願います。ウポポイでも毎年この儀礼をおこなっており、今年は5月に春のコタンノミ、11月に秋のコタンノミを行っています。2026年の時点では、非公開で実施しています。

私がお前に、私がお前たちに

- ① tanpe e=kore=an na. これを私がお前にあげるよ。
タンペ エコレアン ナ。
- ② rimse=as siri e=nukare=as rusuy. 私たちが踊る様子をお前に見せたい。
リムセアシ シリ エヌカレアシ ルスイ。
- ③ es=pakasnu=an kusu eraman! 私がお前たちに教えるから覚えろ！
エシパカシヌアン クス エラマン！
- ④ es=rura=as kusune na. 私たちがお前たちを送るよ。
エシルラアシ クスネ ナ。

今日の単語

tanpe	タンペ	代名詞	これ
e==an	エ、アン	人称接辞	私がお前に
na	ナ	終助詞	～よ
rimse	リムセ	自動詞	踊る
=as	アシ	人称接辞	(聞き手を含まない) 私たちが
siri	シリ	形式名詞	～の様子
e==as	エ、アシ	人称接辞	私たちがお前に
nukare	ヌカレ	複他動詞	～を～に見せる
rusuy	ルスイ	助動詞	～したい
es==an	エシ、アン	人称接辞	私がお前たちに
pákasnu	パカシヌ	他動詞	～に教える
kusu	クス	接続助詞	～ので
eraman	エラマン	他動詞	～を覚える
es==as	エシ、アシ	人称接辞	私たちがお前たちに
rúra	ルラ	他動詞	～を送る
kusune	クスネ	助動詞	～するつもり(予定) である

今回も「私がお前に」や「私がお前たちに」などの2つの人称接辞を組み合わせた表現を紹介します。

人称接辞の組み合わせ

これまでに覚えた人称接辞をそのまま組み合わせると、「私がお前に」は「私が」を表す ku= と「お前に」を表す e= を使うように思うかもしれませんが、しかし、「私がお前に〇〇する」と表現するときには、例文①「e=kore=an (私がお前にあげる)」のように、e= と =an を動詞に付けます。

同じように、「私たちがお前に〇〇する」と表現するときには「e= 〇〇 =as」、「私がお前たちに〇〇する」とときには「es= 〇〇 =an」、「私たちがお前たちに〇〇する」とときには「es= 〇〇 =as」を使います。

e= 〇〇 =an	私がお前に (を) 〇〇する
e= 〇〇 =as	私たちがお前に (を) 〇〇する
es= 〇〇 =an	私がお前たちに (を) 〇〇する
es= 〇〇 =as	私たちがお前たちに (を) 〇〇する

覚え方としては、このような組み合わせに限って、「私が」は =an、「私たちが」は =as、「お前に (を)」は e=、「お前たちに (を)」は es= と考えると分かりやすいです。

練習問題

以下の文をアイヌ語にしてみましょう。

- 私がお前に教える。
- 私たちがお前を見つける。 ヒント pa ～を見つける
- 私がお前たちを起こす。 ヒント mososo ～を起こす
- 私たちがお前たちにうそをつく。 ヒント kosunke ～にうそをつく

コラム

人称接辞

アイヌ語と一口に言っても、地域によって方言の違いがあることはこれまでもお話ししてきました。一説には、北海道内のアイヌ語の違いは、日本語でいう東京方言と大阪方言ほど大きくはないともいわれています。しかし、今回勉強した「私がお前に」のような人称接辞の形には、地域によって違いが見られます。そのため、ほかの地域のアイヌ語に触れたときには、人称接辞の使い方を知らないを読み解くのが難しいです。

LESSON 35 11/29@放送 11月のまとめ

今月は助動詞と2つの人称接辞を組み合わせた表現を紹介しました。まとめて振り返りましょう。

- 助動詞は動詞の後ろに置くことで「～したい」「～だろう」のように動詞に新しい意味を付け加えることができます。例えば「遊びたい」といいたいときには「sinot (遊ぶ)」の後ろに「rusuy (～したい)」を置いて「sinot rusuy」といいます。

- いろいろな助動詞

- rusuy ルスイ ～したい
例：kam ku=e rusuy. カム クエ ルスイ。 私は肉を食べたい。
- nankor ナンコロ ～だろう
例：kam ku=e nankor. カム クエ ナンコロ。 私は肉を食べるだろう。
- amkir アムキリ ～したことがある
例：kam ku=e amkir. カム クエ アムキリ。 私は肉を食べたことがある。
- erameskare エラメシカレ ～したことがない
例：kam ku=e erameskare. カム クエ エラメシカレ。 私は肉を食べたことがない。
- okere オケレ ～し終える
例：kam ku=e okere. カム クエ オケレ。 私は肉を食べ終えた。
- nisa ニサ すでに～した
例：kam ku=e nisa. カム クエ ニサ。 私は肉をすでに食べた。
- easkay エアシカイ ～することができる
例：kam ku=e easkay. カム クエ エアシカイ。 私は肉を食べることができる。
- eaykap エアイカプ ～することができない
例：kam ku=e eaykap. カム クエ エアイカプ。 私は肉を食べることができない。

- 自動詞の後ろに no を付けることで、動作や状態にその様子や程度などを加える副詞を作ることができます。

例：pirka 良い → pirkano よく
pon 小さい → ponno 少し
poro 大きい → poronno たくさん

- 「お前が私に」や「お前たちが私たちに」の表現をするときは2つの人称接辞を組み合わせます。例えば「お前が私にくれる」というときには、「e= (お前が)」、「en= (私に)」を組み合わせ「kóre (～を与える)」の前につけて「e=en=kóre」といいます。kóreの部分をほかの動詞に変えることで、さまざまな表現を作ることができます。

また、「es= (お前たちが)」や「un= (私たちに)」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に (を) ○○する」を表すことができます。

e=en=○○ →お前が私に (を) ○○する
例：e=en=kóre. エエンコレ。 お前が私にくれる。

es=en=○○ →お前たちが私に (を) ○○する
例：es=en=kóre. エシエンコレ。 お前たちが私にくれる。

e=un=○○ →お前が私たちに (を) ○○する
例：e=un=kóre. エウンコレ。 お前が私たちにくれる。

es=un=○○ →お前たちが私たちに (を) ○○する
例：es=un=kóre. エシウンコレ。 お前たちが私たちにくれる。

- ただし、es= には「お前たちが」以外に「あなたが」「あなたたちが」という意味があるため、どの意味になるかは文脈から判断します。

- 命令文の場合は主語を表す人称接辞はつけません。

例：お金をください
× ikor e=en=kóre yan. イコロ エエンコレ ヤン。
○ ikor en=kóre yan. イコロ エンコレ ヤン。

- 「私がお前に」や「私たちがお前たちに」の表現をするときは2つの人称接辞を組み合わせます。例えば「私がお前にあげる」というときには e= と =an を動詞に付けて「e=kóre=an」といいます。

また「es=」と「as=」を含めて、人称接辞の組み合わせを変えることで、次のように「誰が誰に (を) ○○する」を表すことができます。

e=○○=an →私がお前に (を) ○○する
例：e=kóre=an. エコレアン。 私があなたにあげる。

e=○○=as →私たちがお前に (を) ○○する
例：e=kóre=as. エコレアシ。 私たちがあなたにあげる。

es=○○=an →私がお前たちに (を) ○○する
例：es=kóre=an. エシコレアン。 私があなたたちにあげる。

es=○○=as →私たちがお前たちに (を) ○○する
例：es=kóre=as. エシコレアシ。 私たちがあなたたちにあげる。

覚え方としては、このような組み合わせに限って、「私が」は =an、「私たちが」は =as、「お前に (を)」は e=、「お前たちに (を)」は es= と考えると分かりやすいです。

疑問詞を用いた表現(1) なに、なぜ、どのように

- ① A:núman nep e=ki? 昨日何した?
ヌマン ネプ エキ?
B:ku=kor tokuy tura ku=sinot wa.
クコツ トクイ トウラ クシノツ ワ。 友達と遊んだよ。
- ② A:nepkusu ekota e=oman ya? なんでそこに行った?
ネプクス エコタ エオマン ヤ?
B:ku=sinot kusu ku=oman wa.
クシノツ クス クオマン ワ。 私は遊ぶために行ったよ。
- ③ A:aynu itak ani nékon an=ye? アイヌ語でどのように言うの?
アイヌ イタク アニ ネコン アイェ?
B:tanpe satcep sekor an=ye p ne.
タンペ サツチェプ セコロ アイェ プ ネ。 これは干し鮭だよ。

今日の単語

núman	ヌマン	副詞	昨日	ya	ヤ	終助詞	～か
nep	ネプ	疑問詞	なに	sinot	シノツ	自動詞	遊ぶ
e=	エ	人称接辞	お前が	kusu	クス	接続助詞	ので
ki	キ	他動詞	～する	aynu	アイヌ	名詞	アイヌ
ku=	ク	人称接辞	私が	itak	イタク	自動詞	話す
			～を持つ:(所有の表現のとき) ～の〇〇	ani	アニ	後置副詞	～で
kor	コロ	他動詞		nékon	ネコン	疑問詞	どのように
				an=	アン	人称接辞	一般に人が
tokuy	トクイ	名詞	友達	ye	イエ	他動詞	～に言う
tura	トウラ	後置副詞	と一緒に	tanpe	タンペ	代名詞	これ
sinot	シノツ	自動詞	遊ぶ	satcep	サツチェプ	名詞	干し鮭
wa	ワ	終助詞	～よ	sekor	セコロ	後置副詞	～と
nepkusu	ネプクス	疑問詞	なぜ	p	プ	形式名詞	もの
ekota	エコタ	後置副詞	～へ	ne	ネ	他動詞	～である
oman	オマン	自動詞	行く				

Lesson7 で疑問文を紹介しましたが、これまでほとんどの疑問文は「これはペンですか?」のように「はい」「いいえ」で答えることができるものでした。今回は具体的な答えを要求するような疑問文を覚えていきましょう。

疑問詞とは

具体的な答えを要求する疑問文を作るときには「なに」や「なぜ」といった「疑問詞」という単語を使って作文をします。英語の授業で扱う 5W1H のようなものという想像しやすいかもしれません。

nep 「なに」

nep は「なに」という意味があり、「なにをした?」のように言いたいときに使います。「お前はなにをした?」と表現する場合には、まず「なに」を表す「nep」、次に「お前が」を表す「e=」、そして「～する」を表す「ki」を順番に並べて「nep e=ki?」と言います。

nepkusu 「なぜ」

nepkusu は「なぜ」という意味があり、「なぜ行くの?」のように言いたいときに使います。「なぜ行くの?」と表現する場合には、まず「なぜ」を表す「nepkusu」、次に「お前が」を表す「e=」、そして「行く」を表す「oman」を順番に並べて「nepkusu e=oman?」と言います。

nékon 「どのように」

nékon は「どのように」という意味があり、「どのように言うの? (どう呼ぶの?)」のように言いたいときに使います。「どのように言うの?」と表現したい場合には、まず「どのように」を表す「nékon」、次に「一般に人が」を表す「an=」、そして「～と言う」を表す「ye」を順番に並べて「nékon an=ye?」と言います。ただし、「an=」は「ye」の前では音が変わってアとなるため、ネコン アイェ?と言います。

練習

例文①～③の A の質問に返答してみましょう。
〇〇のところには、好きな言葉を入れてください。

- ① 例: núman ku= 〇〇. ヌマン ク〇〇。 昨日私は〇〇した。
- ② 例: 〇〇 kusu ku=oman eaykap. 〇〇 クス クオマン エアイカプ。
〇〇ので行くことができなかった。
- ③ tanpe 〇〇 sekor an=ye p ne. タンペ 〇〇 セコロ アイェ プ ネ。
これは〇〇というものです。

コラム

サツチェプ

ウポポイでは、12 月中頃からサツチェプ作りを行います。サケに塩味を付けたあと、まずは 2～3 か月ほど寒干しにします。その後、チセ（家）の中に入れ、さらに 2～3 か月ほどかけて燻製にします。

燻製にしている間はサケの状態を見ながら仕上がりを確かめ、ちょうど良い具合になったところで、おいしい状態を保つために冷凍します。味付けはとてもシンプルながら、「sonno keraan (本当においしい)」です。

ウポポイでは、大きなイベントの際にサツチェプを試食として提供することもあります。今年は 8 月 13～16 日「ウポポイ 夏の祭り」の特別プログラム内で配布しました。食べてみたい方は、サツチェプを味わえる機会がないか、ぜひチェックしてみてくださいね。

疑問詞を用いた表現(2) どこで、どこへ、どこから

- ney ta nintoci e=nukar ya?
ネイ タ ニントチ エヌカラ ヤ? どこで水にすむ化け物を見たんだ?
- téwano ney ne es=paye ya?
テワノ ネイ ネ エシパイェ ヤ? これからお前たちはどこへ行く?
- tan seta ney wa ek?
タン セタ ネイ ワ エク? この犬はどこから来た?
- ney ta ka ku=kor seta somo e=nukar ya?
ネイ タ カ クコロ セタ ソモ エヌカラ ヤ? どこかで私の犬を見なかった?

今日の単語

ney	ネイ	疑問詞	どこ	tan	タン	連体詞	この
ta	タ	格助詞	〜で、〜に	seta	セタ	名詞	犬
nintoci	ニントチ	名詞	水にすむ化け物	wa	ワ	格助詞	〜から
e=	エ	人称接辞	お前が	ek	エク	自動詞	来る
nukar	ヌカラ	他動詞	〜を見る	ka	カ	副助詞	(疑問詞と組み合わせて)〜か
ya	ヤ	終助詞	〜か	ku=	ク	人称接辞	私が
téwano	テワノ	副詞	今から	kor	コロ	他動詞	〜を持つ:(所有の表現のとき)〜の〇〇
ne	ネ	格助詞	〜へ	somo	ソモ	副詞	否定を表す
es=	エシ	人称接辞	お前たちが				
paye	パイェ	自動詞	行く(複数形)				

先週に引き続き疑問詞を用いた表現を覚えていきましょう。

ney は「どこ」という意味を表す疑問詞です。ney の後ろに「ta (〜で)」「ne (〜へ)」「wa (〜から)」などの格助詞 (Lesson17 参照) を置くことで、「どこで」「どこへ」「どこから」のように、表現することができます。※ ne (〜へ) は初出ですが、Lesson17 で紹介している ene (〜へ) と近い使い方をします。

ney ta 「どこで」

「ney (どこ)」の後ろに「ta (〜で (に))」を置くと、「どこで、どこに」という意味になります。「どこで見た?」と表現する場合には、まず「どこで」を表す「ney ta」、次にお前がを表す「e=」、そして「〜を見る」を表す nukar を順番に並べて「ney ta e=nukar?」と言います。

ney ne 「どこへ」

「ney (どこ)」の後ろに「ne (〜へ)」を置くと、「どこへ」という意味になります。「ど

こへ行く?」と表現する場合には、まず「どこへ」を表す「ney ne」、次に「お前たちが」を表す「es=」、そして「行く」を表す「paye」を順番に並べて「ney ne es=paye?」と言います。

ney wa 「どこから」

「ney (どこ)」の後ろに「wa (〜から)」を置くと、「どこから」という意味になります。「どこからこの犬は来た?」と表現する場合には、まず「この犬」を表す「tan seta」、次に「どこから」を表す「ney wa」、そして「来る」を表す「ek」を順番に並べて「tan seta ney wa ek?」と言います。

疑問詞と ka を使った表現

「ney ta ka」のように疑問詞と ka を組み合わせると「どこかで」という表現ができます。例文④「どこかで犬を見なかったか?」と言いたいときには「ney (どこ) ta (で) ka (か) seta (犬) e=nukar (お前が見た) ya (か)?」と言います。「ney wa ka」と言えば「どこから」、「ney ne ka」と言えば「どこかへ」という表現ができます。

また、前回紹介した「nep (なに)」と組み合わせると「なにか」と言うことができ、「nep ka e=kor rusuy pe isam ya? (なにか欲しいものないか?)」のように表現することができます。

このように、疑問詞と「ka」を組み合わせることで、「なにか」「どこか」のように、はっきりと決まっていないものや場所を表すことができます。

練習

例文①〜④に返答してみましょう。

〇〇のところには、好きな言葉を入れてください。

- ①・④〇〇 otta ku=nukar wa. 〇〇 オッタ クヌカラ ワ。 〇〇で見たよ。
- ②〇〇 ekota ku=oman wa. 〇〇 エコタ クオマン ワ。 私は〇〇へ行くよ。
- ③〇〇 or wa ku=ek wa. 〇〇 オロ ワ クエク ワ。 〇〇から来たよ。

コラム

ニントチ

ニントチは川に棲む化け物です。物語が伝承されているので一つ紹介します。主人公の男性が父の友人のいる村に肉を届けに行くことになります。その日は舟に肉を積んで準備だけして、ひとまず寝たのですが、不思議な夢を見ます。父の友人の一人娘が川で寝ているとそこに舟が向かっていくという夢でした。不思議に思いながらも父の友人のいる村まで肉を届けに行くと、何やら騒がしいので事情を聴いてみたところ、父の友人の一人娘が水汲みに行って帰って来てからひどい腹痛で死にかけているということでした。そのうち一人娘からはニントチが生まれてきてしまったので主人公が退治し、女性は無事に回復したという話があります。このニントチは河童とも訳されることがあり、別名はエケラシネ エカチ (頭のくぼんだ子ども) やエケイラシネ エカチ (頭に毛がない子ども) といいます。頭が皿のようになっていて、身長が低くて、水の中にすんでいると考えると確かに見た目や特徴は河童のようなものなんだと思いますが、悪さの仕方が尻子玉を抜いたり、家畜を水の中に引き込んだりする私が想像する河童とはまた違った怖さがあるニントチでした。

疑問詞を用いた表現(3) いつ、どれ、だれ

① hempar upas as ya? いつ雪降った?
ヘンパラ ウパシ アシ ヤ?

② nean pe e=erasasu ya? どれが好き?
ネアン ペ エエラマス ヤ?

③ tanpe nen kor pe ne ya? これは誰のもの?
タンペ ネン コロ ペ ネ ヤ?

今日の単語

hempar	ヘンパラ	疑問詞	いつ
upas	ウパシ	名詞	雪
as	アシ	自動詞	降る
ya	ヤ	終助詞	～か
nean	ネアン	疑問詞	どの
pe	ペ	形式名詞	もの
e=	エ	人称接辞	お前が
erasasu	エラマス	他動詞	～を好き
tanpe	タンペ	代名詞	これ
nen	ネン	疑問詞	誰
kor	コロ	他動詞	～を持つ：(所有の表現のとき) ～の〇〇
ne	ネ	他動詞	～である

先週に引き続き疑問詞を用いた表現を覚えていきましょう。

hempar 「いつ」

hempar は「いつ」という意味があり、「いつ行くの?」や「いつ雪が降った?」のように言いたいときに使います。「いつ雪が降った?」と表現する場合には、まず「いつ」を表す「hempar」、次に「雪」を表す「upas」、そして「降る」を表す「as」を順番に並べて「hempar upas as?」といいます。

nean 「どの」

nean は「どの」という意味があり、「どれが好き?」のように言いたいときに使います。「どれが好き?」と表現する場合には、まず「どの」を表す「nean」と「もの」を表す「pe」を組み合わせて「nean pe (どのもの(どれ))」とします。次に「お前が」を表す「e=」、そして「～を好き」を表す「erasasu」を並べて「nean pe e=erasasu?」といいます。

nen 「誰」

nen は「誰」という意味があり、「あの人は誰?」や「これは誰のもの?」のように言いたいときに使います。「これは誰のもの?」と表現する場合には、まず「これ」を表す「tanpe」、次に「誰」を表す「nen」、所有の表現の「kor」、「もの」を表す「pe」、「～です」を表す「ne」を順番に並べて「tanpe nen kor pe ne?」といいます。

時間を表す表現

一部はこれまでに例文で紹介してきましたが、まとめて紹介します。これらの単語を使う時には、「tanto ku=oman (今日、私は行く)」、「tokam cep ku=e (昼に魚を食べる)」のように使います。

tanto	タント	今日
núman	ヌマン	昨日
nisatta	ニサッタ	明日
kunnano	クンナノ	朝
tókam	トカム	昼
kunne	クンネ	夜

練習

例文①～③に返答してみましょう。
〇〇のところには、好きな言葉を入れてください。

- ①〇〇 upas as. 〇〇 ウパシ アシ。 〇〇、雪が降った。
②〇〇 ku=erasasu. 〇〇 クエラマス。 〇〇が好き。
③ tanpe 〇〇 kor pe ne. タンペ 〇〇 コロ ペ ネ。 これは〇〇のものです。

コラム

雪にまつわる表現

今回の例文で雪が降ることを upas as と紹介していますが、雪が積もっていることは upas poro、とけることは upas ru や upas nin といいます。また、北海道教育委員会が出している『昭和 57 年度 アイヌ民俗文化財調査報告書』では雪の状態を表す表現が紹介されており、たとえば、新雪について「カンジキを履いても膝まで埋まった」とか、雪がしめることについて「雪がかたくなればカンジキを履いて歩ける」ということをアイヌ語で紹介されています。こうした雪の状態は、移動や狩りができるかどうかにも大きく関わります。そのため、雪の状態を細かく捉えることはとても重要であり、それが雪にまつわる豊かな表現として残されているのだらうと想像します。

12月のまとめ

今月は、3回にわたって「疑問詞」を紹介してきました。ここで、これまでに覚えた疑問詞をまとめて振り返ってみましょう。

- 具体的な答えを要求する疑問文を作るときには、「なに」や「なぜ」といった「疑問詞」という単語を使って作文をします。英語の授業で扱う 5W1H のようなものという想像しやすいかもしれません。
- nep 「なに」
「なにをした？」のように言いたいときに使います。
例：nep e=ki? ネプ エキ 何をした？
- nepkusu 「なぜ」
「なぜ行くの？」のように言いたいときに使います。
例：nepkusu e=oman? ネプクス エオマン? なぜ行くの？
- nékon 「どのように」
「どのように言うの？（どう呼ぶの?）」のように言いたいときに使います。
例：nekon an=ye? ネコン アイェ? どう呼ぶの？
- ney 「どこ」
ney は「どこ」という意味を表す疑問詞です。ney の後ろに「ta (～で)」「ne (～へ)」「wa (～から)」などの格助詞 (Lesson17 参照) を置くことで、「どこで」「どこへ」「どこから」のように、表現することができます。
例：ney ta e=nukar? ネイ タ エヌカラ? どこで見たの？
ney ne e=oman? ネイ ネ エオマン? どこへ行くの？
ney wa e=ek? ネイ ワ エエク? どこから来たの？
- hempar 「いつ」
「いつ行くの？」のように言いたいときに使います。
hempar e=oman? ヘンパラ エオマン? いつ行くの？
- nean 「どの」
「どれが好き？」のように言いたいときに使います。
例：nean pe e=erasasu? ネアン ペ エエラマス? どれが好き？

- nen 「誰」
「これは誰のもの？」のように言いたいときに使います。
例：tanpe nen kor pe ne? タンペ ネン コロ ペ ネ? これは誰のもの？
- an= はこれまで「(聞き手を含む) 私たちが」を表すと覚えてきましたが、「一般に人が」というときにも使います。
aynu itak ani seta sekora an=ye p ne. アイヌ イタク アニ セタ セコロ ア
イエ プ ネ。 アイヌ語で犬というものです。

時間を表す表現

一部はこれまでに例文で紹介してきましたが、まとめて紹介します。

これらの単語を使う時には、[tanto ku=oman (今日、私は行く)]、[tókam cep ku=e (昼に魚を食べる)]のように使います。

tanto	タント	今日
núman	ヌマン	昨日
nisatta	ニサッタ	明日
kunnano	クンナノ	朝
tókam	トカム	昼
kunne	クンネ	夜

MEMO

アイヌ語ラジオ講座 ポッドキャスト

■アイヌ語ラジオ講座では、これまで放送してきた音声とテキストをダウンロードして、いつでもどこでも気軽にお楽しみいただけます。

ダウンロードはこちら↓

<https://www.stv.jp/radio/ainugo/index.html>



テキストはこちらからもダウンロードできます↓

https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/radio.html



【注意事項】

- 平成 10 年度～平成 11 年度 Vol.1-3 の音声は公開されておりません。何卒ご了承ください。
- 当テキストデータ及び音声データについて、他のウェブサイトへアップロードする等の利用行為及び営利目的に関わるすべての行為はお控えください。
- 著作権等に関する法令に遵守し、適切な範囲での利用をお願いします。

アイヌ語ラジオ講座 ウェブアンケート

■アイヌ語ラジオ講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化にまつわるお話等を放送しております。この講座のあり方や放送内容などを検討していくにあたり、皆さまのご意見やご感想をお寄せください。なお、いただいたご意見は番組制作の参考以外に利用しません。

アンケートはこちらから↓

https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/details/web.html



■「アイヌ語ラジオ講座 CD 等の貸出」及び「郵送アンケート」の実施について令和 5 年 3 月 31 日を持ちまして終了しました。引き続き上記ポッドキャストやウェブアンケートを実施してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

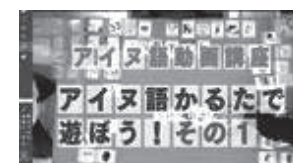
アイヌ民族文化財団 アイヌ語関連事業

■公益財団法人アイヌ民族文化財団は、アイヌ語やアイヌ文化の振興を図る事業、アイヌの伝統等に関する普及啓発事業等を実施しています。

アイヌ語に関するコンテンツ

アイヌ語動画講座

多くの皆さんに「楽しみながらアイヌ語を学んでいたきたい」「もっとアイヌ文化のことを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、初心者向けのアイヌ語講座を動画で配信しています。



オルシペ・スウォブ

アイヌの口承文芸（お話など）の語り（アイヌ語と日本語訳）及び字幕（アイヌ語、日本語訳、多言語訳）をつけたアニメーション映像を公開しています。



アイヌ語弁論大会 イタカンロー

アイヌ語を学ぶ方々の成果発表の場であるとともに、ご来場いただいた方々を含め、「みなさんでアイヌ語を楽しみましょう」というコンセプトの大会です。大会の様子をおさめた動画が、アイヌ語ポータルサイト内にてご覧いただけます。

アイヌ語ポータルサイト

上記を含むさまざまなアイヌ語に関するコンテンツをまとめたサイトがあります。

詳しくはこちら↓

https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館

体験型フィールドミュージアム

国立アイヌ民族博物館

見るだけでは終わらない
新しい発見がここにある。

国立民族共生公園

自然の中で培われてきた
先住民族アイヌの文化を五感で感じる。

アイヌ民族の視点で語る「6つのテーマ」に沿った展示等
多彩な展示方法でわかりやすく紹介します。

●私たちのことば
アイヌ語のしくみやアイヌ語由来の地名などについて、音声や映像を交えて紹介します。

●私たちの歴史
現代に続くアイヌの歴史のひろがりや連なりを視覚的にわかりやすく紹介します。

●私たちの世界
儀礼に使われる道具などを通じて、カムイ(神)の考えかた、自然観などについて紹介します。

●私たちのしごと
狩猟、漁ろう、採集、農耕といった伝統的な生業のほか、現代のアイヌ民族の多様な仕事を紹介します。

●私たちの暮らし
衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を紹介します。

●私たちの交流
交易品を通して、様々な文化や民族との交流をたどっていくとともに、民族共生のありかたを伝えます。

ポロト湖

有料エリア

国立アイヌ民族博物館

ウポポイ PR キャラクター トウレットポン

①体験交流ホール
重要無形民俗文化財およびユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」や、ムックリ演奏などのアイヌの芸能を披露します。

②体験学習館
料理や実食体験のほか、教育旅行などの体験活動も行っています。

③工房
スタッフが製作した工芸品や素材の展示を見学できるほか、木彫や刺しゅう体験、ムックリやトンコリといった伝統楽器の体験もできます。

④伝統的コタン
かやぶきのチセ(家屋)が再現され、生活空間を体感できるエリアです。室内の見学のほか、アイヌの暮らしや文化について解説するプログラム等を実施します。

⑤いざないの回廊
⑥歓迎の広場
⑦エントランス棟
木々や動物が描かれた回廊を抜けると大きな広場が迎え。北海道のお土産などが揃うショップ、アイヌの食文化を楽しめるカフェやフードコートもあります。

⑧チキサニ広場
季節のイベントや特別プログラムを開催する広場です。ポロト湖の景観とともに楽しみいただけます。

■入場料

入場料	税込価格
大人(一般)	1,200円
大人(団体)	960円
高校生(一般)	600円
高校生(団体)	480円
中学生以下	無料

※団体(20名以上)

■所在地

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3

開園情報・最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。

■アクセス

公式ウェブサイト

公式Facebook

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

当財団は国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくためには運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費 ■法人・団体／一口2万円 ■個人／一口5千円 ※各一口以上です。

会員の特典

- 財団が発行する刊行物、会報等の無料配布
(民族共生象徴空間運営事業の刊行物等は含まれません。)
- 財団が主催する展示会、講演会等の行事の案内
- アイヌ文化に関する行事、イベント等の情報の提供等
- 民族共生象徴空間入場優待券

入会方法

- ①銀行振込または郵便振替にて会費のお支払いをご希望の方は、事前に入会申込手続きが必要です。ホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、郵送、FAX、E-mailのいずれかの方法でお申し込みください。
- ②クレジットカード決済をご希望の方は、ホームページ上で決済と入会申込手続きができます。

詳しくはホームページをご覧ください。
https://www.ff-ainu.or.jp/web/overview/details/post_9.html



会費の使途

- アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など自主事業の充実のために充てられます。

令和8年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

発行年月 令和8年9月
編集・発行 公益財団法人アイヌ民族文化財団



公益財団法人アイヌ民族文化財団とは

当財団は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発を図るための施策の推進のほか、民族共生象徴空間（愛称:ウポポイ）の運営を行っています。

多様な価値観が共生し、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される共生社会の実現を図り、あわせて我が国の多様な文化の一層の発展に寄与するため、国内外においてさまざまな事業を実施しています。

公益財団法人アイヌ文化財団

〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西7丁目

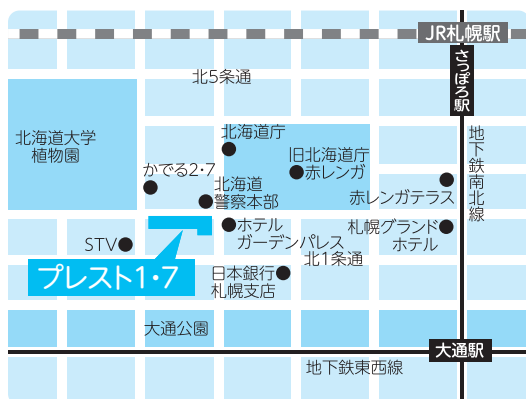
プレスト1・7(5階)

TEL. (011) 271-4171

FAX. (011) 271-4181

e-mail:ainu@ff-ainu.or.jp

URL <https://www.ff-ainu.or.jp>



アイヌ文化交流センター

〒111-0041

東京都台東区元浅草3丁目7-1

住友不動産上野御徒町ビル3階

TEL. (03)5830-7547

FAX. (03)5830-7548

e-mail:acc-tokyo@ff-ainu.or.jp

